

1. 調査報告概要表

作成日平成19年10月5日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3472501562
法人名	医療法人社団あんず会本田クリニック
事業所名	グループホーム金泉
所在地	東広島市安芸津町三津4333番地1 (電 話) 0846-46-1080
評価機関名	特定非営利活動法人西日本医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田4-46-9
訪問調査日	平成19年9月12日

【情報提供票より】(19年7月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 12 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	13 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	RC 造り		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	21,300 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり	1,200 円		

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名		
要介護3	7 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.1 歳	最低	66 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	本田クリニック、県立安芸津病院、おの内科クリニック、原田歯科医院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

安芸津町内でひとつだけのグループホームである。開設されてから2度目の外部評価とのことであるが、同じ敷地の中にデイサービスがあり、全体としてこの地域の高齢者サービスを目指した取り組みが見られる。ホームでの生活者は自由で活発な生活をしておられる様子がみられた。職員もその生活態度が入居者が元気になれるといった取り組みをしておられる。特に外出は盛んでプロ野球観戦、清水劇場見物など入居者が外へ出たい気持ちをよく把握して生活できるようになっておりこれからもこの活動を続けられることを期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回とは評価方法が異なっており、直接には比較できないが前回より入居者、職員とも落ち着いた生活となっている。随分と良くなっている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	地域密着型としての取り組みがこれからのようであるが、ホームとして単独で取り組むこともあるが、温泉利用(デイサービス内)、車椅子の無料貸し出し、AED設置など地域に必要なものを準備しておられるのでこれらを通じた地域密着もひとつの手法である。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議をかいさいされ、ホームの状況などが報告されているが、やっと始まった状態である。地域の人たちの意見は包括介護支援センターとの連携やその主催する会議に参加されており、それらを含めた意見の収集をして運営に生かされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族へは月に一回は手紙を出しており、こられたときや介護計画のときは必ず声かけなどをし、話しを聞いている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	AEDは地域にとっても必要なものであるのをこれを活用した取り組み(AEDのPRや使用方法の説明会など包括介護支援センターや消防署と連携)などを期待する。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念をきちんと作り、表示している。		グループホームが地域密着型サービスとなり、それに合った理念が求められています。グループホームとしてだけでなく温泉を利用したデイサービスやショートステイを行っておられ、これらとともに地域に結びついた理念を期待する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議で理念を唱えている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の清掃や祭りなどの地域行事に積極的に参加している。また車椅子の無料貸し出しを行っている。		AEDを設置されているがこれは地域の人たちにも必要なものであるため、地域の人にも利用できるようにされるとよい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義やその取り組みの内容を検討し、職員に理解させて日常の取り組みを行っている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の内容を玄関に張り出し、入居者とその家族に知らせている。		

グループホーム金泉

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括の会議に参加しており、行政とは連絡をとっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には月一回は手紙を出しており、介護計画のときは意見を聞いている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加をしておられる。面会時などに話しを聞いている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	グループホーム内での移動はある。職員が入居者をよく知るために行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回のミーティング学習を行っており、外部研修に参加している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域内に同業者はいない。包括支援センターとの交流がある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者は自宅で行っていた食事の準備や後片付けなどを行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者は三味線や大正琴を自主的に演奏しており、ほかの入居者も参加して音楽を楽しんでいる。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>プロ野球を見に行きたい人、芝居を見に行きたい人等の要望をかなえている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアマネージャーと担当者が本人、家族の意見を聞きながら作成し、全職員の意見を聞き完成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1ヶ月の介護状況をまとめており、状態の変化が生じたときはすぐ見直しをしている。変化のないときは3ヶ月ごとに見直しをしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイの温泉を利用している。また入居者が公民館活動に参加している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医が週に2回訪問している。また、入居者が独自にかかりつけ医にかかっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と重度化になったときのことを相談しており、看取りができるよう取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導では他人にわからないように行っており、プライバシー保護のためのミーティングを行っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者が三味線、大正琴を自主的に演奏をはじめられるとほかの階からも聞きに来られる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者職員が会話を楽しみながらの食事であり、入居者は準備、後片付けを自主的に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	デイの温泉を楽しみにしておられる。入居者の意向を聞きだしての入浴となっている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	プロ野球観戦など入居者の希望をできるだけかなえている。ホーム内でも自由に行動しており、三味線の演奏などの楽しみが行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や外食とよく出かけており、公民館活動への参加者もいる。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間は完全に開放している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2日避難訓練を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、バイタルチェックなどきちんと記録し、足りない人には補給をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳の間や掘りごたつなど用意しており、午後の音楽は1~2階の人が集まって楽しんでいる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個室には使い慣れたベットやカーテンがあり、入居者の持込となっている。		